

## 5) 受療割合から見たがんの罹患

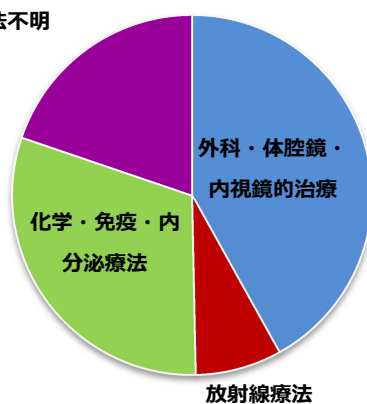
全部位を受療割合を見ると、割合が高い順に「外科・体腔鏡内視鏡的治療」、「化学・免疫・内分泌療法」、「放射線療法」となっており、それぞれ52.0%、37.9%、9.6%であった。

乳がんと卵巣がんでは「外科・体腔鏡内視鏡的治療」の割合とともに「化学・免疫・内分泌療法」の割合も高く、両者の併用療法が広く普及していることが明らかであった。

\*表6-A参照

### 全部位

特異療法なしまたは  
治療方法不明



### 乳がん

特異療法なしまたは  
治療方法不明

